

令和7年度 山梨県立中央高等学校 通信制 評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針	Chuoハーモニックプランに基づき、自らを尊び、社会を生き抜く人づくりをする
-----------	--

山梨県立中央高等学校校長 中込 一成

本年度の重点目標	学ぶ楽しさ、わかる喜びを知り、自らの生き方や在り方を問い続ける人づくりをする。
	社会性を身につけ、自立と自律を目指す人づくりをする。
	自らを尊び、他者を尊び、地域を尊ぶ人づくりをする。

達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	B 概ね達成できた。(6割以上)
	C 不十分である。(4割以上)
	D 達成できなかった。(4割以下)

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自 己 評 価				年度末評価(2月5日現在)		
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	自己評価結果	達成度	成果と次年度への課題・改善策
1	学ぶ楽しさ、わかる喜びを知り、自らの生き方や在り方を問い続ける人づくりをする。 ※学校評価アンケート(生徒用) 質問No1~6 (保護者用) 質問No1~5 (教職員用) 該当箇所 ※授業改善アンケート 該当箇所	「わかる」「楽しい」から「もっと学びたい」授業への改善。「認める」「引き出す」「まとめる」「協働する」授業を実現し、教師がファシリテーター(発言を促し、結論へ導く)としての技術を高める。	学校評価アンケート(生徒、保護者、教職員) 授業アンケート 成績概況 教職員の自己観察書	B	B	・過去には各種アンケートへの回答数が少なく、比較的学校生活や教育活動に前向きな生徒や保護者からのみの回答率が高かったが、近年はformsによる調査方法により回答数が激増したことで、より実態に近づいた結果、各数値が下がったものと考えられる。 ・授業の満足度は、課題や授業の学習内容を簡易にすれば高くなる傾向がある。したがってアンケート結果の数値に一喜一憂せず、今後も家庭や地域社会から通信制に求められる「学習の質」を落とさぬよう、維持・改善に努める。 ・ICTを活用した教育実践では、通信制はBYOD(一人一台PC)の対象外だが徐々にTeams等の普及率、利用率が上昇している。科目によってはチャットでレポート提出や授業動画の配信などに積極的に取り組んでいる。
		面接指導や添削指導において、生徒自身に考えさせる問題に対してさらに丁寧な指導を行い、本質的な問いかけによって、生徒が自己の生き方や在り方を深めていく。	学校評価アンケート(生徒、保護者、教職員) 授業アンケート 成績概況 教職員の自己観察書			
		MS-Teamsによる連絡や、メディア視聴による出席減免など、ICTを活用した教育実践を推進する。	学校評価アンケート(生徒、保護者、教職員) 授業改善アンケート 教職員の自己観察書			
2	社会性を身につけ、自立と自律を目指す人づくりをする。 ※学校評価アンケート(生徒用) 質問No7~12 (保護者用) 質問No6~10 (教職員用) 該当箇所	ハーモニックプランの各要素(自らを尊ぶ、基本的な生活習慣、規範意識、コミュニケーション能力、チームワーク、シンキング、アクション)を意識した教育活動を行っていく。	学校評価アンケート(生徒、保護者、教職員) 教職員の自己観察書	B	B	・生徒による評価では一昨年から昨年に低下した各項目が少しずつ回復している。上段の「学ぶ楽しさ」の各項目同様、生徒からは概ね9割程度の高評価だが、保護者からは8割に満たず、特に「生徒と担任や教科の先生方との信頼関係」は7割未満と、学校の対応に満足できていない様子が伺える。 ・「社会性を身につけ、自立と自律」の項目群は、卒業年次の生徒には高い意識を持たせやすいが、新入年次などではまだ真剣に自分事として捉えていない生徒も多く、評価が低くなっていることも考えられる。逆にそれが保護者のジレンマとして表れている傾向が見られる。しかしながら微増ではあるが前年度より高評価となった項目もあるため、今後も地道に生徒に寄り添い、自主性、自立性を高めるよう支援していく。
		自己理解から進路実現までを意識した系統的なキャリア教育を行っていく。	学校評価アンケート(生徒、保護者、教職員) 教職員の自己観察書			
		社会的・職業的自立ができるよう、進路係と担任が連携を密にしながら生徒ひとりひとりと懇談を大切に、適切なアドバイスをする。	学校評価アンケート(生徒、保護者、教職員) 教職員の自己観察書			
3	自らを尊び、他者を尊び、地域を尊ぶ人づくりをする。 ※学校評価アンケート(生徒用) 質問No13~18 (保護者用) 質問No11~17 (教職員用) 該当箇所	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを活用した校内連携(チーム支援)を促進し生徒指導・支援体制の充実を図り、生徒の生活を支え、自他を尊ぶ心を育む。	学校評価アンケート(生徒、保護者、教職員) 生徒指導支援資料 教職員の自己観察書	B	B	・生徒による評価では「学校は、いじめのない学校を目指し、適切な対応をしている」「学校は安全・安心な環境だと思える」が微減でやや気になるものの、「学校の中に悩みを話したり相談したりすることの出来る人がいる」が微増している。通信制という特殊な環境を考慮すれば、大変良い傾向である。 ・保護者による評価では、「学校には、保護者が子どもの悩みや問題について学校に相談できる体制が整っている」が7割を下回っており、周知の不足が課題である。自由記述欄には先生方の献身的な対応を感謝するものもあれば、より丁寧な支援を求めるものも多く、多様な家庭の多様な要求に対応しなければならない現代の社会情勢が背景にある。 ・教職員による評価では、ほとんどの項目で向上しており、今後の継続に期待したい。
		学校行事等において、自主的に人との関わりを大切にするとともに、地域を愛し、地域に貢献しようとする心を育む。	学校評価アンケート(生徒、保護者、教職員) 教職員の自己観察書			
		働き方改革を行う中で、教職員が自らの職務と向き合い、他者を尊重しつつ支援し合う意識と地域を愛する意識をもつよう心掛ける。	時間外勤務表 学校評価アンケート(教職員) 教職員の自己観察書			

学校関係者評価	
実施日 (令和8年2月5日)	
評価	意見・要望等
3.3	・通信制という難しい制度の中で、ひとりひとりを大切に、生徒自身が自己に問いかけ考えることができるよう取り組まれている。 ・生徒と保護者では、学校に求めるものやイメージが異なるのかも知れないが、生徒から評価が高いことは大切であると思う。 ・「一人一人の生徒を大切に作る姿勢」「学習内容がわかるように工夫」は生徒からは9割以上の評価を受けているという評価は通信制として最上の評価に感じます。 ・私立の通信制高校が増える中、公立高校ならではの特徴をどうアピールするかが大事だと思います。授業はもちろんですが、それ以外でも中央高校の良さをアピールしてください。
3.5	・社会性を身につけたり、自立・自律や心身の健康を育む機会を通信制が積極的に取り入れているように感じました。 ・学校設定科目「進路探究」「自己探求」の両講座が開校したことで、CHUOハーモニックプラン通信制版の新たな一歩が確立できたことは画期的だと思います。複数回受講できるスタイルがいいですね。 ・この項目について保護者がモヤモヤしてしまうのも理解できます。しかし、生徒達が高評価をつけていることが一番大切なことだと思っています。子供は学校でのことをあまり話さない所があるので心配になってきます。少しでもその心配が軽減されることを願っています。
3.5	・いまや働きながら通信制に通うというより、同年代の集団でうまくいわず通信制を選択するようになってきました。それ故、集団の中で役に立つという経験は、生徒の大きな自信になると思います。ぜひ生徒の自主的な運営の機会を大切にしてください。スクーリングの日だけにこだわらず、活動日を設定することも検討してもいいかもしれません。 ・通信制の存在が注目されている近年、通信制で多様な生徒への指導・支援経験は教師の重要なスキルアップになっていることに、先生方はぜひ誇りを持ってください。 ・自主的な活動が生徒の自己肯定感や自己有用感を醸成し、社会性を育てるよい機会になると思います。 ・先生方の健康があつての学校教育ですから、働き方改革をよりいっそう進めてください。

留意点 (1) 重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。

(2) 学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。